

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	新しい施設であると同時に、自治会のない地域であること、近隣が新興住宅の団地が多いこと等から、周辺地域との交流が希薄である。地域密着型の施設として、地域との交流を考えていくことが今後の課題である。	地域密着型の施設であることを理解し、地域との交流を深める。	①地域に行きつけのカフェやコンビニを作る。 ②地域行事(清掃・祭り等)に、入居者と共に参加する。 ③ボランティアや職場体験の受け入れを積極的に行う。	12カ月
2	35	夜間の火災・災害発生時には、2名の職員で高齢の入居者を避難させる必要がある。また、居住空間が2階であり、避難経路が階段になっている。更に、備蓄品や緊急時の持ち出し品の整備が不十分である。	備蓄品・緊急時の持ち出し品の整備を含め、災害発生時の手順を具体的にし、職員全員が理解できる。 近隣住民と交流を深め、協力体制を整える。	①備蓄品を整備する。 ②緊急時の持ち出し品のリスト化と職員への周知を行う。 ④近隣住民に災害発生時の協力を依頼し、体制を整備する。	6カ月
3	1	法人の理念は確立されており、施設内の掲示、職員の理解はできている。しかし、法人の理念をふまえた施設としての理念が作成されていない。施設としての理念を作成し、職員の進む方向を明確化する必要がある。	法人の理念をふまえ、施設としての理念を作成する。 全職員が理念を理解し、目標達成に向けて取り組むことができる。	①職員で意見を出し合い、理念を作成する。 ②作成した理念を施設内に貼り出し、朝礼で唱和する。 ③作成した理念を施設案内パンフレットに載せ、外部に周知する。	6カ月
4	66	新規に開設した施設であり、開設後に採用された職員が半数以上を占めている。経験もばらつきがあり、組織として確立できていない状況である。今後は、良好な職場環境を作り、職員定着とサービスの標準化が課題である。	職員が生き生きと働ける職場環境を整える。 職員の知識・技術の向上とサービスの標準化を図る。	①積極的にサンキューレターを書く。 ②1回/年、職員満足度調査を実施する。 ③定期的な面談を実施する。 ④定期的に研修会を開催し、積極的に参加する。	12カ月
5					カ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)